トラブルシューティング（困った時は）

トラブル内容:ガスカートリッジがバーナーに接続できない

原因1:ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用していない。
　（解決法）ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用してください。
原因2:ガスカートリッジのねじ部分が傷んでいる。
　（解決法）新しいガスカートリッジに取り替えてください。
原因3:バーナーのバルブのねじ部分が傷んでいる。
　（解決法）販売店、もしくは当社までご相談ください。

トラブル内容:ガスが漏れている

原因1:火力調整つまみが完全に閉まっていない。
　（解決法）火力調節バルブを完全に閉めてください。
原因2:ガスカートリッジが完全に接続されていない。
　（解決法）ガスカートリッジをバーナーの底部にねじを締める要領でしっかりと取り付けてください。この時、締めすぎに注意してください。
原因3:バーナーのOリングが傷んでいる。
　（解決法）販売店もしくは代理店までご相談ください。
原因4:バーナーのバルブ部分が傷んでいる。
　（解決法）販売店もしくは当社までご相談ください。
原因5:ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用していない。
　（解決法）ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用してください。

トラブル内容:点火しない

原因1:ガスカートリッジが空、もしくは空に近い。
　（解決法）新品、又はある程度容量の残っているガスカートリッジと交換してください。
原因2:使用場所の気温が非常に低い。
　（解決法）低温下ではガスが気化しにくくなります。両手でガスカートリッジを暖めてみてください。カートリッジは雪や氷の上で使用しないでください。
原因3:点火装置が機能しない。
　（解決法）バーナーヘッドの内側（メッシュの部分）に火花が届き着火できるよう、点火装置をペンチを使って適切な位置に調節します。バーナーチューブと点火装置の間にゴミ等があれば取り除いてください。それでも点火しない場合は販売店もしくは当社までご相談ください。
原因4:バーナーのガス吹き出し口が詰まっている。
　（解決法）販売店もしくは当社までご相談ください。

トラブル内容:ストーブが炎上した

原因1:本体を使用中に移動させた。
　（解決法）使用中は絶対に揺すったり傾けたりしないでください。
原因2:ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用していない。
　（解決法）ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用してください。
原因3:ガスカートリッジがきちんと接続されずガスが漏れている。
　（解決法）ガスカートリッジをきちんと接続する。

トラブル内容:消火できない。

原因1:バーナーのバルブ部分が傷んでいる。
　（解決法）火力調整つまみをできるだけ強く締めて火を吹き消し、火の気のない場所で素早くガスカートリッジからバーナーをとりはずしてください。その後、販売店もしくは当社までご相談ください。

アフターサービス

お買い求めいただきましたジェットボイルは万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは当社までご連絡ください。製造上の欠陥による不具合の場合は無償で修理、もしくは交換いたします。なお、修理、交換等の判断は弊社が検査し、裁量させていただきます。PS LPGマークが付いた金属プレートは検査済みを表し、本製品を保証するものです。大切に保管してください。
以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

・本製品の誤った使用方法によるもの。
・メンテナンス不良、経年変化による素材劣化。
・乱暴な取り扱いによるもの。
・改造品。
・他社ガスカートリッジとの組み合わせによるもの。
・その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの。

⚠ 警告!

ガスの燃焼によって一酸化炭素が排出されます。一酸化炭素により死亡または脳障害を引き起こす可能性があるため、本製品は風通しのよい屋外で使用してください。テント内、車内、室内など、換気ができない場所では絶対に使用しないでください。

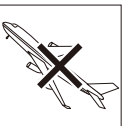
・ガスカートリッジは熱や直射日光、また発火の原因となるものに近づけないでください。爆発する危険性があります。

・セラミック製品や鉄板、網等をカートリッジの近くで使用しないでください。ガスカートリッジが過剰過熱され爆発する恐れがあります。

・ガスカートリッジを2つ以上並べて使用しないでください。ガスカートリッジが過剰過熱され爆発する恐れがあります。

・加熱中にバーナー本体を持ち上げたり傾けることは厳禁です。ガスが吹き出し炎上する原因となり、重度のやけどを負う危険性があります。また、使用中は半径1メートル以内に燃えやすい物を置かないでください。火が燃え移る危険性があります。

・分解や改造をしないでください。
・専用クッカーの中にガスカートリッジを入れたまま火にかけることは絶対にしないでください。
・ガスカートリッジ全体を風防などで絶対に囲まないでください。ガスカートリッジが加熱され爆発する恐れがあります。
・40℃以上の高温な場所では使用しないでください。
・ガスカートリッジのガスを吸い込むと酸欠の為、窒息死する恐れがあります。

⚠ 注意!

・ガスカートリッジの航空機への持ち込みは託送・手荷物とも禁止されています。

・ガスカートリッジや本体は必ず水平で安定する場所で使用してください。

・ガスカートリッジは幼児の手の届かない所に保管してください。

・ガスカートリッジの運搬・保管は直射日光を避け、40℃以下で湿気の少ない風通しのよい場所にキャップをして保管してください。特に車のダッシュボードやトランクルームは爆発の危険がありますので、絶対に放置しないでください。

・分解や改造をしないでください。
・ガスカートリッジに衝撃を与えることは厳禁です。また、時々点検し、サビが出たものは早めに使い切ってください。
・ガスカートリッジを廃棄する際は、必ずガスを使い切った後、お住いの自治体の分別方法に従って捨ててください。別売の「クランチット」をご使用頂くと簡単にガス抜きと、必要に応じて穴開けも可能です。

品質表示

クッカー:アルミニウム合金（3003）　コジー:ネオプレン　ゴトク:ステンレス
フタ、カバー:ポリエチレン　スタビライザー:ナイロン
●型式:ヘリオス/HEL200、ヘリオスガイド/HEL300
●容量:ヘリオス/2ℓ、ヘリオスガイド/2ℓ+3ℓ
●総重量:ヘリオス/745g、ヘリオスガイド/1,295g（ガス缶除く）
●寸法:ヘリオス/直径210mm×高さ115mm、ヘリオスガイド/直径240mm×高さ130mm（収納時）
●沸騰到達時間:約3分（1ℓ）※周囲温度20℃、水温20℃、海抜150m、無風の時。
※自然状況により沸騰するまでの時間は変動する場合があります。
●耐熱温度:フタ、カバー/85℃

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.jp
07-193-1211

HELIOS™

ヘリオス クッキング システム

ヘリオス 型式HEL200
ヘリオスガイド 型式HEL300

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。誤った使用の場合、使用者本人及び周囲の方々の死にいたる事故の原因となる恐れがあります。

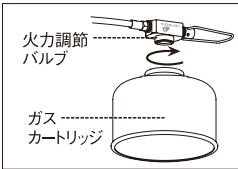
各部の名称

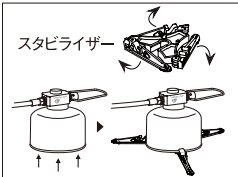
ジェットボイル・バーナーベースのセットアップ

1.セット前の確認

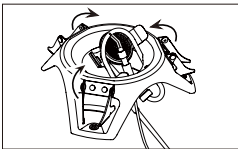
まずはじめに、バーナーの火力調整つまみがしっかりと閉まっているかどうか、またOリング（火力調整つまみ拡大図参照）にゴミの付着や亀裂などの損傷がないかを確認してください。O-リングに損傷がある場合は使用しないでください。ガスカートリッジはジェットボイル専用をご使用ください。それ以外のガスカートリッジを使用した場合、ガス漏れによる出火・爆発の危険性があります。また、他社製の大型ガスカートリッジ（4fl oz./120ml以上）を使用すると高い濃度の一酸化炭素が排出されますので使用しないでください。

2.カートリッジの取り付け

ガスカートリッジのキャップを外し（キャップは捨てないでください）、カートリッジ上部を上にした状態で、火力調節バルブの底部分にねじを締める要領で確実に取り付けます。この時、自然に止まるよりややきつめに締めてください。ただし締めすぎに注意してください。

3.スタビライザーの取り付け

スタビライザーを広げガスカートリッジに取り付けます。スタビライザーの3つのクリップとガスカートリッジ底のリングを確実に固定させます。カートリッジがスタビライザーの中心にきているか、また全てのクリップがリングにはまっているかを確認してください。セットしたジェットボイルは熱くない水平で安定した場所に置いてください。

4.バーナーベースのセットアップ

バーナーベースの3カ所のゴトクを起こします。

ゴトクを起こさずにバーナーベースの上に直接クッカーを置いて使用すると、不完全燃焼により火災等の重大な事故を引き起こす可能性があり大変危険です。必ずゴトクを起こして使用してください。

調理と加熱

ゴトクに載るサイズであれば他のクッカーやフライパンも使用できますが、ジェットボイル ヘリオスクッキングシステム本来の性能を発揮するためには付属の専用クッカーの使用をお勧めします。
※ジェットボイルのコンパニオンカップ、1.5ℓクッキングポット、フラックスリングフライパンとは互換性がないため使用できません。

1.専用クッカーの準備

ハンドルの反対側にあるタブを下に引いて、専用クッカーの底からプラスチックカバーを外します。
※プラスチックカバーは食器として使用していただけます。

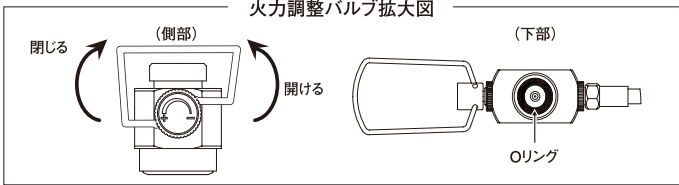
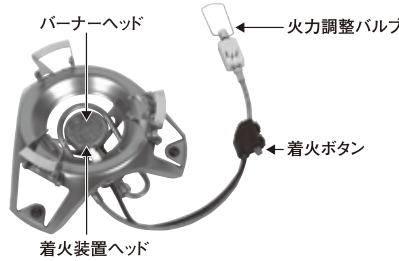
プラスチックカバー

2.食材投入

次に専用クッカーに液体もしくは液状の食材を入れます。専用クッカーは液状の食材の調理専用です。油で揚げるなど、油を使用しての調理、また水分の少ない食材を炒めるなどの調理はしないでください。本体が過度に加熱され、破損や火傷の原因となる恐れがあります。

3.点火

バーナーに点火する際は、まず火力調節バルブをゆっくり反時計回りに30〜45°程度回し、少量のガスを出して素早く点火ボタンを押し点火を確認します。一度で点火できない場合は、火力調節つまみを一旦閉じてからやりなおしてください。次に適切な火力になるよう火力調節つまみを回し調節します。時計回りに回すと火力が弱まり、反時計回りに回すと火力が強まります。

火力調整バルブ拡大図

4.バーナーへのセット

着火済みのバーナーベースに専用クッカーを置き、ゴトクの上で安定させます。3枚のゴトクがフラックスリングの内側に完全に納まるように置いてください。コジー（ネオプレンカバー）が焦げたり、燃えたりする恐れがありますので、コジーはポットの底の角まで伸ばさないでください。

5.加熱中の取扱い

フタが吹き飛ぶ恐れがありますので加熱中にフタをきつく閉めないでください。加熱中にフタを使用すると加熱冷却により縮みが発生する可能性があります。フタが熱いうちに閉めると縮みを防ぐことができます（空焚きは厳禁です）。フタをする場合は逆さにして使用してください。また加熱中は防風カバーやコジー（ネオプレンカバー）で専用クッカー下部の排気口を塞がないよう注意してください。コジーが燃えたり、ガスカートリッジが過剰過熱され爆発する恐れがあります。

調理終了後の作業について（消火方法）

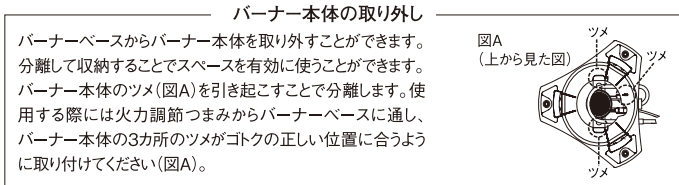
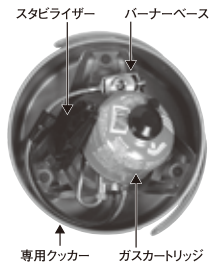
1. 火力調整つまみを時計回りに回して閉めます。火を確実に消し、またガス漏れを防ぐため、しっかりと閉めてください。
2. 次にバーナーから専用クッカーを取り外します。この時、手が金属部分に触れないよう気を付けてください。使用後は非常に熱くなっているため、火傷する恐れがあります。
3. 火傷と中身の冷えを防止するため、オレンジのプラスチックカバーを専用クッカーの底に装着します。ジェットボイルをその後またすぐに使用する場合は、バーナーにガスカートリッジを取り付けたまま水平な面に置いてください。

使用後の収納について

1. 使用後は、ガスカートリッジを取り外しカートリッジキャップを取付けて、熱や直射日光、また引火の原因となるものから離しておいてください。
2. 本製品を取り外す際には、必ず火を止めて完全に冷ましてください。火の点いたまま、又は火を消してすぐに取り外し作業を行った場合、火傷等の重大な事故を引き起こす可能性があります。
3. 専用クッカーを冷ました後、洗ってよく乾かします。
4. ガスカートリッジからスタビライザーを取り外し、足を完全に折りたたみます。
5. 付属の収納袋にバーナーベース、ガスカートリッジ、スタビライザーを入れて専用クッカーに収納します。
6. パチンと音がするまで、しっかりとフタを閉めます。

バーナー本体の取り外し

バーナーベースからバーナー本体を取り外すことができます。分離して収納することでスペースを有効に使うことができます。バーナー本体のツメ（図A）を引き起こすことで分離します。使用する際には火力調節つまみからバーナーベースに通し、バーナー本体の3カ所のツメがゴトクの正しい位置に合うように取り付けてください（図A）。

図A
（上から見た図）

点検・手入れのしかた

1. 日常の点検・手入れは必ず行ってください。
2. 使用の前にOリングに損傷が見つかった場合は本製品の使用を停止してください。Oリングの損傷部分よりガスが漏れ、出火の原因となる恐れがあります。
3. バーナー部が汚れたら布等でふいて掃除してください。
4. 故障または調子の悪いものは絶対に使用しないでください。

⚠ 使用上の注意!

クッカーは絶対に空焚きしないでください。

専用クッカーの内側に表示されている目盛を超えて、スープや水などの液体や食材を入れないでください。また、調理の際は中に入れた液体や食材が吹きこぼれないよう、火の加減には特に注意を払ってください。火傷の原因となる恐れがあります。

雪を溶かして水を作る場合は、まず200cc（コップ1杯分）程度の水を専用クッカーに入れてこれに少しずつ雪を加えるようにして溶かしてください。直接、雪だけを入れた専用クッカーを点火したジェットボイルにかけることは絶対にしないでください。

⚠ バーナーへの点火は必ず専用クッカーをセットする前に行ってください。専用クッカーをセットしたまま点火すると炎の大きさが確認しにくいため、ガスを必要以上に出しすぎ、過度の加熱をしてしまう恐れがあります。点火作業は手をできるだけ伸ばして行い、バーナーに顔を近づけないよう注意してください。点火時にバーナーから勢いよく火が吹き出し火傷を負う危険性があります。

⚠ 調整ねじを開く前にガスの臭いがした時は、着火しようとしないでください。爆発や火事になる恐れがあります。

専用クッカー以外の調理器具を使用しないでください。またスタビライザーは必ず装着して使用してください。

加熱中に本体を持ち上げたり傾けることは厳禁です。ガスが吹き出し炎上する原因となり、重度の火傷を負う危険性があります。また、使用中は半径1メートル以内に燃えやすい物を置かないでください。火が燃え移る危険性があります。

炒め物をする場合はコジー（ネオプレンカバー）を外してください。